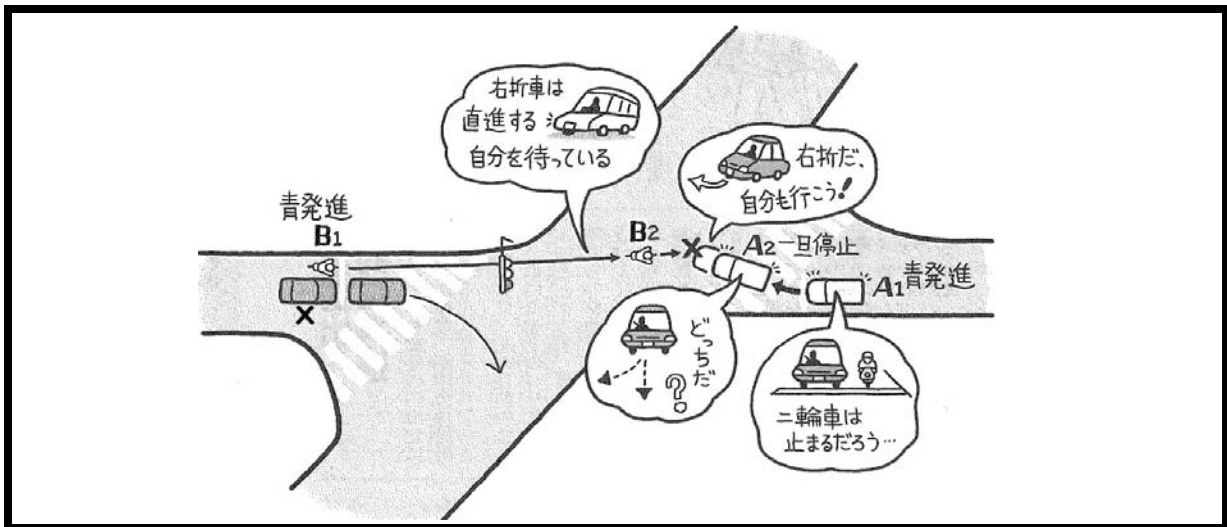


■事故の概況



事故類型：出会い頭

発生日時：夜 曇り

当事者A：普通貨物車 30歳代 男性

当事者B：二輪車 10歳代 男性

■ 事故の概要

Aは、往復1車線の道路を走行中、変形十字路交差点を右折しようとし、信号が赤になったので停車しました。対向側の先頭にも信号待ちのX車がいるのが見えました。B車は左折か直進するだろうが、先に交差点内に進入してしまえばB車が止まるだろうと考えました。

Aは信号が青に変わったのを確認してから、交差点に進入しました。X車も動き出しましたが、方向指示器を出していなかったため、Aは交差点内で停止してX車の動静に注意しました。X車が右折を開始したので、Aは自分も右折を開始したところ、突然、直前にB車が現れたため、急ブレーキをかけましたが間に合わず衝突しました。

一方、B車は信号が青になって交差点内に進入した際、A車が停止したのを見て自分の進行を待っているものと解釈しました。そのまま時速約20kmで進行したところ、突然A車が右折を開始したためブレーキをかけましたが、間に合わず衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

この事故の直接の原因ではありませんが、直進してくる二輪車を正面からみて正確な速度を読み取るのは大変難しいことが分かっています。それは二輪車が小さく見えるとか、目立ちにくいとか、様々な理由があるようです。

自分が交差点で右折待ちをしていて、対向側から二輪車が直進してくるときは、直進二輪車の通過や停止を確認してから右折を開始したほうがより安全です。